

ポストコロナの社会

文明の転換点における未来への視座

吉田 憲司

Several white lines of varying lengths and angles are positioned in the bottom right corner of the slide, creating a modern, abstract graphic element.

文明の転換点 における

新型コロナウイルス感染症の急拡大

浮かび上がってきたものは、

差別意識と、近代の制度の問題点

文明の転換点 と 感染症 との関わり

- ▶ 6世紀 コンスタンチノーブルで ペスト流行
東ローマ帝国の衰退と地中海世界でのイスラームの伸長
- ▶ 14世紀 ヨーロッパで ペスト蔓延
中世の終焉と近代の成立
- ▶ 16世紀 インカ帝国、アステカ王国滅亡
(スペインから持ち込まれた天然痘の蔓延が一因)
- ▶ 1858(安政6)年 長崎から江戸で コレラ(虎狼猩) 流行
攘夷運動の高揚 明治維新へ
- ▶ 1918年から19年(第一次大戦末期) スペイン風邪(インフルエンザ) 流行
世界全体で死者数5000万人から1億人の被害



ニコラ・プッサン 《アシュドドのペスト》
1631 ルーブル美術館蔵

旧約聖書サムエル記第五章の章句

「アシュドドの人びとが腫物に打たれる」 (に基づく)



「茶毘室（やきば）混雑の図」 仮名垣魯文編
安政5年(1858)

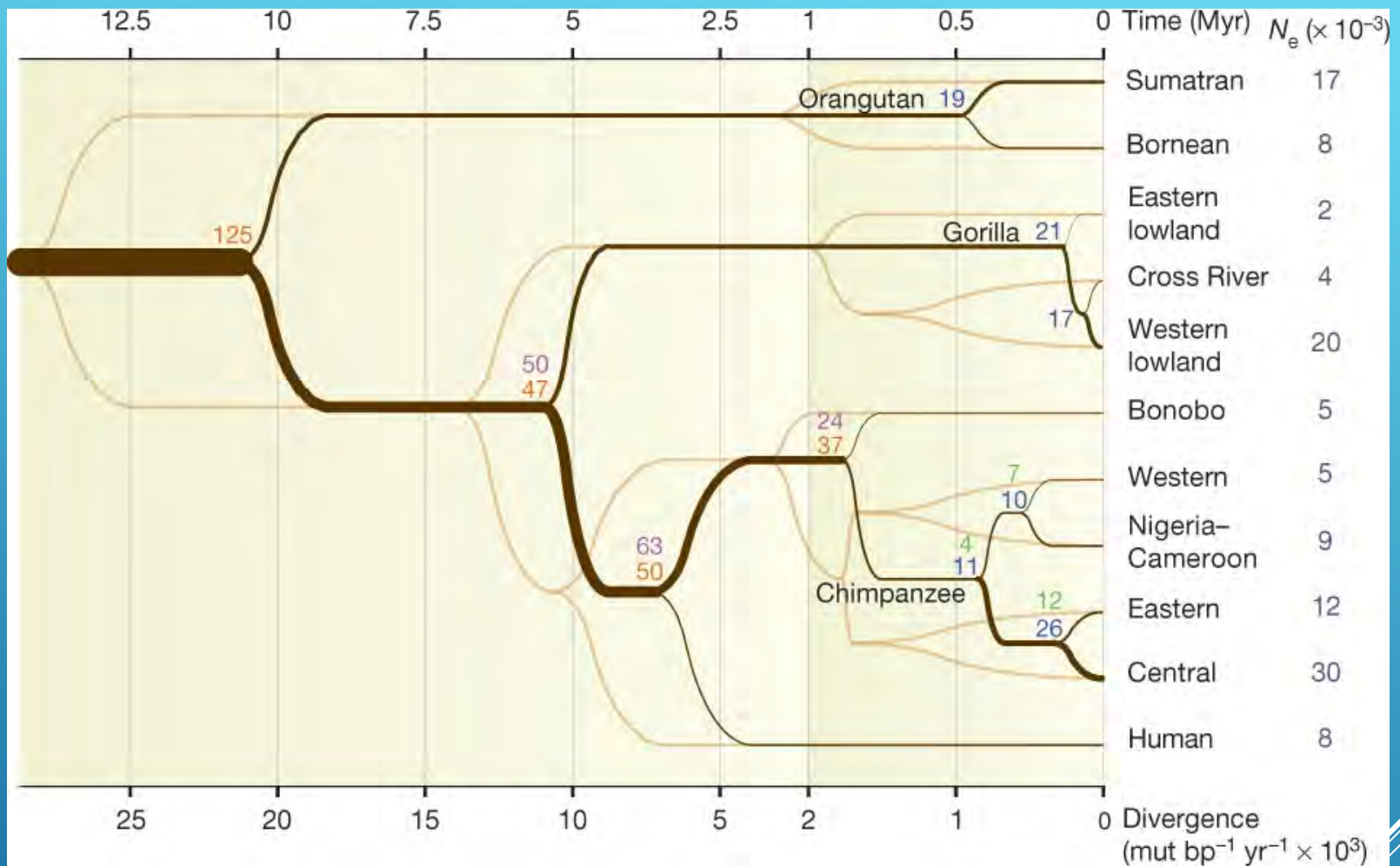
■ 人類を危機に陥れる感染症の共通点

人獣共通感染症

■ 遺伝的多様性

と

文化的多様性



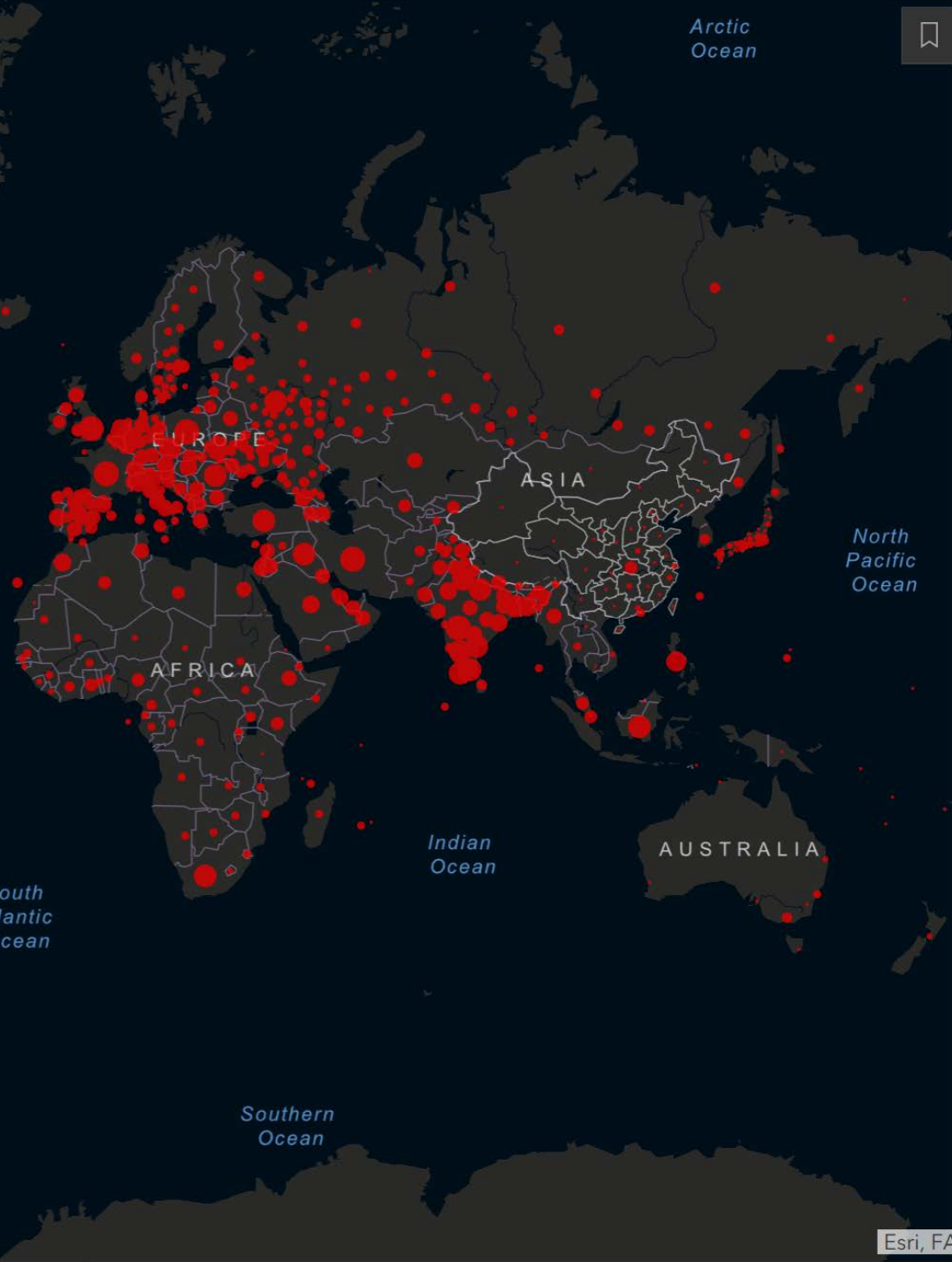
Great ape genetic diversity and population history

Prado-Martinez, J. et al. *Nature* 2013

■現代型サビエンス化石の主な発掘・発見地と拡散の軌跡



ミトコンドリアDNAと考古学的資料から見た人類の拡散の経路



ポストコロナの社会

文化的多様性の尊重以外に

人類が生き延びる術はない

チェックポイント

少数者を含めて、あらゆる人びと、あるいは命あるすべての者に対して、同じく命をもつ者、同じ時代を生きる者としての**共感**を持ちつつ、**文化の多様性**、あるいは広く**生命の多様性**を尊重するものとなっているか？

ポストコロナの社会

- グローバル化は不可避、逆戻りは出来ない。
- 双方向の接触、交錯、交流はますます激化

⇒ 接触・交錯の場を、協働・共創の場へ
フォーラム の実現

Cameron, Duncan

1974 'The Museum: a Temple or the Forum'.
Journal of World History 4(1):189-202.



<世界>

- ▶ **民主主義** 再検証・再定義
- ▶ **国民国家の枠組み** 強化 ⇒ 越境・協働
国際機関 再編
- ▶ **生命のコントロール** (CRISPER-Cas9)
人類は「生命」に対して大きな責任を持つに至った。
- ▶ **生命観 の転換**
人間中心主義からの脱却 生命圏、生態系の連鎖
- ▶ **地球温暖化** 脱炭素化

<日本>

▶ 東京一極集中 から、地方分極化

日本全体で、世界とつながる

▶ 地球温暖化 脱炭素化の先頭に

世界が脱炭素化した暁には日本は「勝者」（江守正多）
（第15回 選択する未来2.0）

- 2025大阪・関西万博「いのち輝く未来社会のデザイン」
ポストコロナ社会の試金石

改めて 「選択する未来2.0」 中間報告(2020年7月1日) から

「多様性こそがイノベーションを生み、
変化への対応力を高める」

Several white lines of varying lengths and angles are positioned in the bottom right corner of the slide, creating a dynamic, abstract graphic element.